

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動名	2022 年次世代育成『森林再生指導員認定制度』	
活動団体名	非営利型一般社団法人 Silva	
活動目的	<p>シルワは、50 年以上の実績と研鑽を誇る、宮脇昭理学博士の混植・密植方式と青木淳一農学博士の土壌動物学を基軸とする調査方法を継承し、発展させてきた法人。これらを土台に事業の主軸である植生復元を推進していく中、次世代へスキルと知識を継承していくことが、取り組みの持続可能性の向上に不可欠の課題であると認識することから、2017 年より次世代育成『森林再生指導員認定制度』を発足し、学生は、受講料無料で実施。次世代の人材育成を目的とする。</p>	
活動内容	<p>野外で自然とふれあいながら、シルワが取り組む通年の森づくり作業をカリキュラムに盛り込み、大地再生・粗朶づくり・風の草刈り・植樹・育樹・補植・計測・植生調査に至るまで、4 日間の研修期間に野外座学と共に実修する。4 日目の筆記試験の合格者には、5 日目のオンライン補習 2 時間の講座を設け、更に理解を図り、且つ、森林再生指導員同士の横のつながりを強化する。</p> <p>また、当法人が主催及びコンサルする植樹事業へリーダーとして、従事いただき、場数を踏むことで知識を定着させる。その上で、スキルアップ研修として、育苗研修や立体的な分布域を紐解く植生版の宿泊研修・どんぐり拾いイベント・オンライン新年会など、交流と研修の機会を提供している。</p>	
活動写真		
写真説明	2022 年春 五期生の認定式	2022 年秋 五期生の認定式
活動効果	<p>当法人の設立当初は、植樹祭開催時に一般参加者へ植樹方法や注意点をレクチャーできるリーダーの配置不足の為、関係者へリーダー協力を仰ぐ必要であったところ、2021 年秋頃より、他の協力がなくともリーダー配置が叶うようになり、2022 年秋の植樹祭では、リーダーが各班に 5 名も配置可能となった。森林再生指導員合格者は、累計 50 名となり、受講した高校生の中には、本活動を題材に AI 受験し、見事に早稲田大学へ合格した者もいる。</p>	

今後の展望

2023年は、年間トータルで50名の受講者獲得を目指し、累計100名の育成を目標とする。講座や講演も好評を得ていることから、依頼も末広がりとなっており、各地で配置が必要となった場合もカバーできる体制を整え、次世代の人材育成と併行して、緑化の加速を目標とする。

活動日 2022年 2月 5日～2022年 11月 30日